

はじめに

かつてないスピードで少子高齢化や人口減少が進むなか、企業が成長を続けていくためには、社会環境の変化をしっかりとらえ、イノベーションの創出によって生産性を高めるとともに、これまでの働き方を見直し、女性や高齢者をはじめ意欲ある多様な人々が「ワーク」と「ライフ」を充実させながら活躍することのできる、魅力ある職場づくりに向けた具体的な取組を推進していくことが重要です。

国においては、働く人がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現する働き方改革を総合的に推進するため、働き方改革関連法の順次施行により、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保等のための施策が講じられています。

また、広島県においては、平成27年に改定した「ひろしま未来チャレンジビジョン」の中で、「仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現」に向け、働き方改革を最重要課題の一つと位置付け、県内企業の皆様を後押しするきめ細かな施策を実施しているところです。

こうした中、県内では、経済団体が創設された働き方改革実践企業認定制度における「認定企業」が277社、働き方改革に取り組む「実施企業」の割合が約6割になるなど、働き方改革は着実に進んでいます。一方で、働き方改革の必要性は感じながらも、ノウハウ不足などにより具体的な取組に至っていない企業も約3割存在している状況です。

そこで、働き方改革が必要とされる背景や期待される効果、取組の基本的なステップやノウハウをまとめるとともに、県内企業の具体的な実践事例を充実させた「働き方改革取組マニュアル・事例集（増補第二版）」を作成しました。

作成に当たっては、多くの関係者、企業等の皆様にご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。

この資料が多くの企業の皆様にとって、働きやすい職場づくりを進めるうえでの一助となれば幸いです。

今後も、本県では、「仕事でチャレンジ!暮らしをエンジョイ!活気あふれる広島県」を目指して、全力で取り組んでまいります。

企業等の皆様におかれましても、ぜひ、本書をご活用いただき、自社の「働き方改革」に積極的にチャレンジしていただくことを願っております。

令和2年2月

広島県商工労働局働き方改革推進・働く女性応援課

目次

第1章

なぜ今、働き方改革が必要なのか

今、求められている経営戦略『働き方改革』～自社の競争力強化に向けて～	3
1. 企業を取り巻く環境の変化	4
2. 従業員の離職による損失	9
3. 対応求められる、業務効率（生産性）の向上	14
4. 県内企業の実態	16
5. 「働き方改革」の効果	18
6. 広島県働き方改革実践企業（認定企業）における「働き方改革」の効果	20
コラム：～多様な人材の活躍に向けた「働き方改革」を～ 県立広島大学 経営専門職大学院 木谷 宏 教授	21

第2章

明日から実購できる！「働き方改革」を成功に導く4つのステップ

1. 「働き方改革」を成功に導く、4つのステップ	23
2. 【STEP1】準備	24
3. 【STEP2】仕組みづくり	34
4. 【STEP3】行動	40
5. 【STEP4】点検・見直し	53
取組アイデア編の紹介	57

第3章

『成功に導く4つのステップ』による県内中小企業のモデル実践事例の紹介

モデル実践事例1 平和建設	58
モデル実践事例2 ポップジャパン	60
モデル実践事例3 広合化学	62
モデル実践事例4 二村自動車	64
モデル実践事例5 テクノス三原	66
モデル実践事例6 マエダハウジング	68
モデル実践事例7 ユニバーサルポスト	70
モデル実践事例8 東洋電装	72
モデル実践事例9 マイティネット	74
モデル実践事例10 体育社	76
実践事例編の紹介	78

お役立ち資料

働き方改革関連法	80
「広島県 働き方改革 従業員意識調査ツール」の紹介	81
「広島県 働き方改革 実践企業認定制度」の紹介	83